

「大きく育てね」。ヒマワリの種  
をまく子どもたち＝姫路市大塩町



姫路市大塩町の塩田跡地を、ヒマワリの花でいっぱいにしようと、住民ら約二百人が十六日、大的市民センター北側の約五千平方メートルに、ヒマワリの種約十萬粒をまいた。同町周辺は、秋に花を迎えるノジギクで知られる。大塩地区に年中花を咲かせ、地域住民が集う場をつくらうと、

## 塩田跡にヒマワリを

姫路・大塩 住民ら種まき10万粒

同町内で病院を運営する医療法人社団「汐咲会」が自治会に話を持ち掛け、役員の所有地を提供した。種は市公園緑化課から譲り受けた。この日は、同法人の職員のほか、地元の住民や子どもが参加。東西に伸びる十数列のうねに穴を開け、ヒマワリ畑になる日を思い描きながら種を

まいていった。

大塩地区連合自治会の伊藤紘一郎会長（六八）は「住民が花を通してふれ合う場がまた一つできた」と喜んだ。

今後は同法人の職員と地元住民が水やりや草引きで協力。花は八月中旬には見ごろを迎えるという。（広岡磨璃）